



糸魚川市立能生中学校

所在地 糸魚川市大字能生 2643

校長 木嶋 正和

教頭 熊木 勝

☎ 025(566)2065

Fax 025(566)2465

Email nou-jhs@itoigawa.ed.jp

2025 年度学級編制

学年	1 年	2 年	3 年	特支	合計
学級	2	2	2	2	8
男子	14	18	25	9	66
女子	24	17	17	2	60
合計	38	35	42	11	126

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S 20 新学制の実施により現在の能生小学校建設地に能生町立能生中学校創立
- S 35 4 月 1 日能生中・木浦中・能生谷中の一部を統合し、新たに能生中学校を新設
- H 4 4 月 1 日南中学校統合、4 月 6 日開校式
- H 5 4 月現在の能生中学校竣工、同年 6 月に屋外運動場完成
- H 22 4 月磯部中学校を統合
- H 23 創立 20 周年
- R 2 大規模改修工事
- R 3 創立 30 周年

(2) 教育課題

- ☐ 家庭学習習慣が身につけていない
- ☐ 人間関係をうまく築けない生徒がいる
- ☐ メディアに依存する生徒がいる

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

夢 真 力

(2) 重点目標

- 自ら学習に取り組み協力して学ぶ生徒の育成
- 思いやりと感謝の気持ちを行動にうつすことのできる生徒の育成
- 自ら考えて心と体を鍛える生徒の育成

(3) 重点目標達成のための方策

- 学習習慣の定着・充実、授業改善
- 思いやりと感謝の心、互いの絆を深める活動
- 正しい生活習慣、望ましい集団づくり、部活動の充実
- 子ども一貫教育方針の自校化

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

学習に主体的に取り組み、話合いや協働的な学習を通して課題を解決し、知識・技能や思考力、判断力、表現力を身に付け、自己の目標の実現に努める生徒を育成する。

(2) 特別の教科 道徳

道徳的価値を自分事として理解し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする生徒を育成する。

(3) 総合的な学習の時間（抜粋）

- 自分の将来に夢や希望をもち、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考える生徒を育成する。
- 校区内のジオエリアを訪問し、歴史や人々との関わりを学び、ふるさとの自然や文化を大切にし、地域に貢献しようとする生徒を育成する。

(4) 特別活動

- 互いのよさを認め、尊重し合い、正しい行動をする生徒を育成する。
- 話合い活動を活発に行い、集団づくりに積極的に取り組む生徒を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点（抜粋）

- 気持ちのよい挨拶、正しい言葉遣いを心掛ける態度を育てる。
- 生徒会を中心とした、いじめ見逃しゼロのための活動を通して、いじめを許さない態度を育てる。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 積極的な話合いの場を設定するとともに学級の時間の充実を図る。（学級優先日の班会議や班長会）
- 道徳の授業や「いじめ見逃しゼロスクール運

動」を中心にいじめ見逃しゼロの取組を実践し、いじめや嫌がらせをなくす。

- 挨拶やよい言葉遣いを心掛ける日常的な取組（挨拶運動・よい言葉遣い運動）を行う。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「自ら考え、伝え合い、向上する生徒の育成」

(2) 研究の内容

- 自ら考え、伝え合い、向上する生徒の育成（学習プロジェクト）
- 思いやりと感謝の心を行動にうつすことができる生徒の育成（心づくりプロジェクト）
- 自ら考え、心と体を鍛える生徒の育成（健康・体力づくりプロジェクト）

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

ジオエリア学習を実施する。地域素材や地域講師を活用した学年毎の探究活動を通して、生徒が人と自然との関わりを学んだり郷土を愛する心を高めたりすることができるようにする。

(2) キャリア教育

地域学校協働活動推進員と連携を図り、職業講話、職場訪問、職場体験などの活動を通して勤労観を高め、将来の夢の実現に向けて目標をもつことができるようにする。

また、市キャリア教育フォーラムとの関連を図ったりキャリアパスポートを活用したりする。

(3) 特別支援教育

個別の指導計画に基づいて教育活動を実践するとともに、交流学习を通して社会への適応力や社会参加に必要な力を育む。

7 部活動

(1) 設置している部活動

- 陸上競技部 ○野球部 ○男子バレーボール部
- 女子バレーボール部 ○卓球部 ○吹奏楽部
- 文化活動部 ○（特設）相撲・水泳・スキー・男子バスケットボール部

(2) 活動時間

夏季（4月～新人大会） 18時00分まで
冬季（新人大会～3月） 17時20分まで

- *学期中は、週当たり2日以上 of 休養日を設ける。平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という）は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。
- *夏季休業中及び冬季休業中は別に設定する。

8 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 11 ○講師 1
- 非常勤講師 3 ○養護教諭 1 ○事務主幹 1
- ALT 1 ○教育補助員 2
- 学校管理員 1

9 学校運営協議会

【委員の構成】10名

- 公民館長 ○区長連絡協議会長
- 学識経験者 ○保護司会区長 ○元PTA会長
- PTA会長 ○校長、教頭

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

- (1) 能生中学校教育の在り方
- (2) 教育活動に関わること
- (3) 地域・保護者との連携に関すること

□□ 日課表 □□

	火水金 平常授業	月 清掃なし 5限	木 清掃なし 6限
朝活動	8:20 ~ 8:30		
朝学活	8:30 ~ 8:40		
1 限	8:45~ 9:35	8:45~ 9:35	8:45~ 9:35
2 限	9:45~10:35	9:45~10:35	9:45~10:35
3 限	10:45~11:35	10:45~11:35	10:45~11:35
4 限	11:45~12:35	11:45~12:35	11:45~12:35
給食	12:35~13:05	12:35~13:05	12:35~13:05
昼休み	13:05~13:35	13:05~13:35	13:05~13:35
清掃	13:40~13:50		
5 限	14:00~14:50	13:40~14:30	13:40~14:30
6 限	15:00~15:50		14:40~15:30
終学活	16:00~16:10	14:40~14:50	15:40~15:50 毎週:フッ化物洗口

- *生徒下校 部活動がない日 5限 15時00分
6限 16時20分
- 部活動がある日 夏季 18時15分
冬季 17時35分

- *通学方法 スクールバス:1名 路線バス:32名
徒歩及び自転車:93名

地域と共に歩む 学校づくりに向けて

能生中カリキュラム

2025 年度グラントデザイン

重点目標 「自ら学習に取り組み、協力して学ぶ生徒の育成」 「思いやりと感謝の心を行動にうつすことのできる生徒の育成」 「自ら考え、心と体を鍛える生徒の育成」

- 満点学習
- 心地よい反応
- 地域に貢献

自ら学習に取り組み、 協力して学ぶ生徒の育成

- 1 意欲をもって自ら学び、他との関わりの中で自分の考えを深める生徒
 - 基礎学力の定着。家庭学習は、「60分＋学年×10分」以上
 - 定期テストを軸とした学習習慣づくり(目標・計画・反省・改善)
 - 検定や基礎学力テスト等への積極的な挑戦
- 2 進んで考え、進んで表現する学習活動の工夫
 - ねらいを明確にし、個々の生徒が活躍できる授業づくり
 - 「分かる」・「楽しい」・「学び合える」授業の実践
 - 教科横断的な学習による学びの連鎖
- 3 「子ども一貫教育方針」に基づく教育活動の推進
 - 一人ひとりの目標を明確にさせ、中学校区で共通理解した学習指導の徹底
- 4 ジオエリア学習の推進
 - 地元のジオエリアを探究し、ふるさと「いといがわ」を愛する心の育成
 - 「地域とつながる」学びにより、「故郷力(ふるさと力)」の向上
- 5 「学力向上いといがわプラン」との関連
 - 学習規律「学習5原則」の共通実践と学ぶ意欲の向上

学力向上

知

教育目標

ゆ め ま こ と ち か ら

夢 真 力

自主と進取の
志をもつ生徒

凡事徹底

心

思いやりと感謝の心を行動にうつすことのできる生徒の育成

- 先手挨拶(小中高地域挨拶運動)
- 感謝の連鎖(いじめ見逃しゼロ)
- 地域に貢献(コットンプロ、花街プロ)

- 1 思いやりのある言動
 - ★心で人と関わる
 - 進んで挨拶をする(仲間・地域・来客)
 - 思いやりと感謝の気持ちを育てる学級活動と道徳の授業の展開
 - ★話合いで分かり合い、高め合う
 - 話合い活動の充実(授業・学級の時間・専門委員会)
- 2 互いの絆を深める活動
 - ★生徒会を中心として
 - 生徒によるSDGs活動の推進、SNGs活動の具現化
 - いじめ見逃しゼロスクール集会を中核とした人権教育、同和教育や日常活動の充実
 - 体育祭・能生中祭の2大行事を中心とした生徒会行事の充実
- 3 個に応じた一貫した指導体制の確立
 - ★能生中学校区小中の連携を中心として
 - 9年間を通じての個人カルテやキャリアパスポートを利用した情報の共有化

豊かな心

体

自ら考え、 心と体を鍛える生徒の育成

- 1 正しい生活習慣、健康なからだづくり
 - ★健康で過ごせる生活を自分でつくる
 - 家庭での望ましい生活習慣づくり(家庭学習時間の確保)
 - KYBカードによる自己管理
 - 正しい食習慣によるパワーアップ
 - メディアコントロールによる学力アップ
- 2 みんなで体力向上・望ましい集団づくり
 - ★自分で高める・チームで高め合う
 - 体育授業で体力向上のための具体的な手立て
 - 最後までやりぬく心と体づくり(部活動)
 - リーダー、フォロアーの育成を通して、より高め合う学校集団の構築(部活動)
- 3 小中一貫した連携による体力の向上
 - ★課題の共有、手立ての明確化
 - 県体力テストを基に、具体的な手立てを小中で探る。

健康な心身

- 先手挨拶
- 心地よい反応

保護者の皆様へ

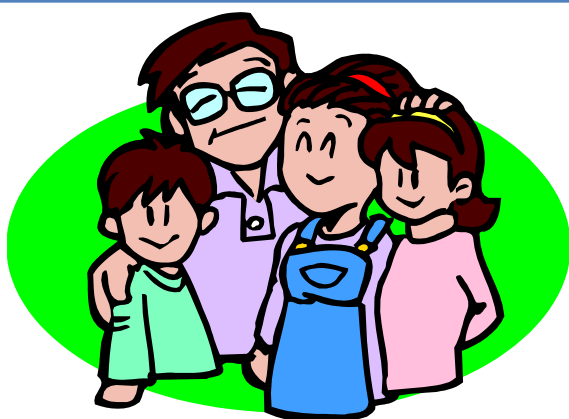
- 学校・生徒の様子を積極的にお知らせします。
 - ・学校だより等各種たよりの発行、ホームページの充実、LEBERメッセージの配信
- 教育活動についての意見や評価をしていただきます。
 - ・学校評価アンケート・期末面談

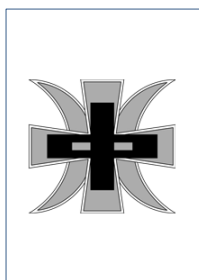
コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

- 学校運営の基本的な方針の承認
「学校経営計画」「教育課程の編成」「学校組織の編成」に関する熟議と方向性の共有、承認
- 運営に関する評価と情報提供
学校の運営状況等について毎年度1回以上評価を行い、保護者や地域住民に協議会の活動状況を公開する。

糸魚川市地域学校協働活動

- 学習活動への参画
専門的な知識・技能のある教育ボランティアの活用によるふるさと学習(ジオエリア学習)の推進
- 地域貢献活動への参画
挨拶運動、コットンプロ、花街プロ、ぎおん灯籠への協力





糸魚川市立糸魚川東中学校

所在地 糸魚川市梶屋敷 433

校長 青山 範夫

教頭 倉又 佳宏

☎ 025(555)2616

fax025(555)4517

Email yakeyama@itoigawa.ed.jp

2025 年度学級編制 (特支人数は再掲)

学年	1 年	2 年	3 年	特支	合計
学級	1	2	1	2	6
男子	22	20	21	7	63
女子	18	26	19	6	63
合計	40	46	40	13	126

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S 36 糸魚川第二中学校開校

H 7 糸魚川第二中学校、下早川中学校、上早川中学校の3校が統合し開校

(2) 教育課題

□生涯学ぶ基盤となる学力の育成

□失敗や困難に負けない生きる力の育成

□自他の尊重と相互の信頼関係の醸成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「敬愛・進取・健康」

(2) 重点目標

- 安全で健康な生活を送る生徒の育成
- 認め合い、励まし合う生徒の育成
- 自ら考え、判断し実践する生徒の育成

(3) 重点目標達成のための方策

- 望ましい人間関係の形成(学級集団づくり、学習集団づくり)【今年度最重点】
- いじめのない「学校が楽しい」と感じる学校づくり
- 基本的な生活習慣の定着
- 生き方・進路指導の充実(1年職業講話、2年職場体験、3年キャリアフェスなど)
- 表現活動の充実(体育祭、音楽祭など)
- 分かる授業の実践(研修の充実)
- 自主的な学びの支援と個別支援の充実
- 開かれた学校の推進(授業参観、体育祭、音楽祭、PTA活動など)

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用してよりよく課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む意欲や態度を養う。

(2) 道徳の時間

豊かな心を持ち、互いを思いやり励まし合いながら、人間としてのよりよい生き方を追求し合う生徒を育てる。

(3) 総合的な学習の時間

地域との関わりの中から自らの生き方を考え、その実現に向けて努力する生徒を育てる。

(4) 特別活動

望ましい集団を組織し、生徒の自主的活動を促進し、集団や社会の一員としての自覚を高め、望ましい人間関係を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

生徒と教師、生徒相互の温かな関係性の中で個の意識を高め、望ましい集団の風土をつくる。

生徒会が取り組む「よりよい学校づくりを目指す活動」を支援し、生徒自身の手による望ましい世論の形成と雰囲気醸成を図る。

(2) 具体的な実践の方策

- いじめ等の未然防止と早期発見、適切な初期対応、継続的な支援
- 不登校生徒の早期発見及び適切な初期対応
- 生徒一人ひとりの活動の場の設定
- 肯定的な評価と自己有用感の醸成

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「生徒が安全安心に生活し、互いの個性を尊重し信頼し合える学級づくり・学習集団づくり」

(2) 研究の内容

- 生徒全員が安全安心で生活できるルールやマナーの浸透に向けた指導改善
- 所属感をもち、集団に貢献する気持ちの涵養を目指した係活動、委員会活動の推進
- 生徒相互の理解を目指した、学習活動や学校行事における自己表現の場の設定
- 学級活動、生徒会活動、学校行事が有意味に連動し、目指す力を生徒が身に付けられる教育課程の工夫
- ベテラン教員の知識と若手教員のアイデアから集団値としての知恵を生み出す研修の実施

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

1 学年において、市内のジオサイトを学習するジオパーク現地学習を、理科と社会科で教科横断的に計画し、その活動を通して地元糸魚川の理解を深め、生きる力、豊かな感性と心情を育てる。

(2) キャリア教育

働くことや職業を切り口とした、今の自分と将来の生き方を見つめる学習を通して、自ら課題を見付け、解決に取り組み、社会的・職業的自立に必要な力を育む。また、アントレプレナーシップや資質・能力の育成に取り組む。

- ① 1 学年…職場見学、中 1 チャンスの実施
- ② 2 学年…3 日間の職場体験活動
- ③ 3 学年…地域への貢献や提言

(3) 特別支援教育

一人ひとりの教育的ニーズに応え、困難を改善克服するために適切な支援を行う。

- ①全職員の共通理解を基盤とした支援の充実
- ②保護者や関係機関との連携による支援
- ③職員研修やケース会議の充実

7 部活動

(1) 設置している部活動

- 陸上・スキー部 ○野球部 ○男子バスケットボール部 ○女子バスケットボール部
- 卓球部 ○吹奏楽部 (○特設駅伝部)

(2) 活動時間

夏季 16:00～18:00 (18:15 下校)

冬季 16:00～17:15 (17:30 下校)

*毎週月曜、木曜、土日(どちらか)は活動なし

*夏季休業日、冬季休業日は別に設定

8 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 13 ○養護教諭 1
- 主事 1 ○講師 1 ○非常勤講師 2
- 美術教諭(兼) 1 ○栄養教諭(兼) 1
- 管理員 1 ○教育補助員 3
- 初任研拠点校指導員(兼) 1
- こども教育相談員 2 ○ALT 1
- スクールカウンセラー 1
- 地域学校協働活動推進委員 1

9 学校運営協議会

【委員の構成】9 名

- 元 P T A 会長、現 P T A 副会長、民生児童委員協議会会長、地域学校協働活動推進委員
- おやじ倶楽部代表
- 学校職員(校長、教頭、教務、主事)

【C S としての課題】

- 生徒数の減少による適正な部活数の検討と部活動地域移行の連携
- 地域による学校支援の在り方

□□ 日課表 □□

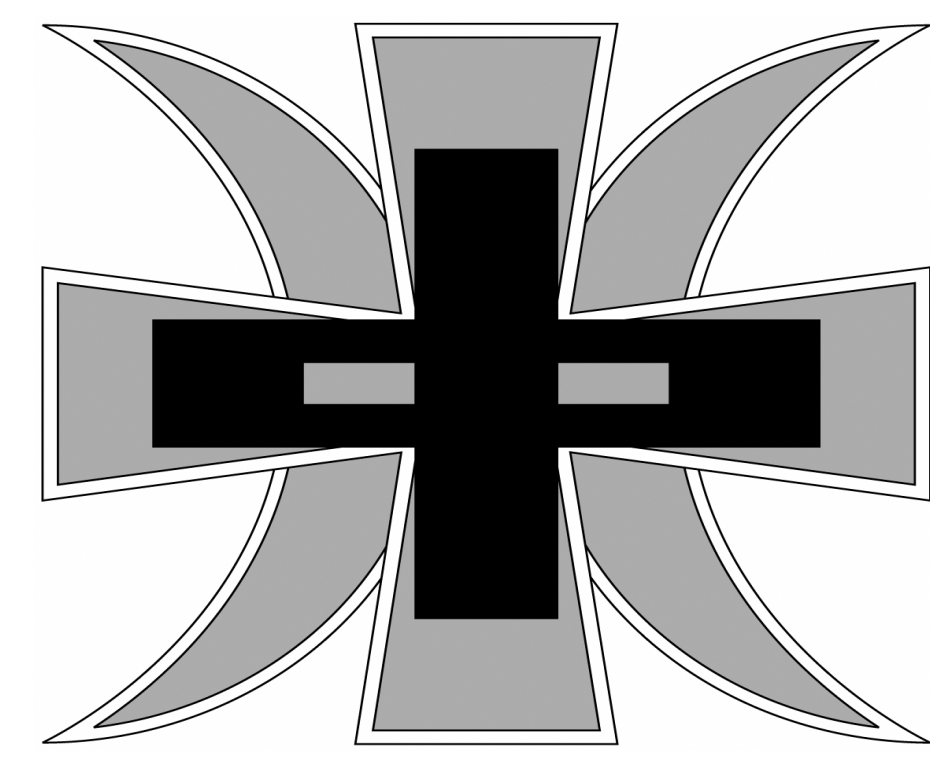
	月	火	水	木	金
8:15～ 8:30	朝学習・朝読書・朝の会				
8:40～ 9:30					
9:40～ 10:30					
10:40～ 11:30					
11:40～ 12:30					
12:30～ 13:00	給 食				
13:00～ 13:45	昼休み				
13:50～ 14:40					
14:50～ 15:40					
15:50～ 16:00	帰りの会				
～ 18:00	放課後活動				

*生徒下校 18 時 15 分 (17 時 30 分)

*通学方法 スクールバス (冬季) 6 名
路線バス 63 名 徒歩 57 名

糸魚川東中学校グラントデザイン

教育目標：敬愛 進取 健康



敬愛

重点目標

認め合い、励まし合う生徒の育成

〇生き方・進路指導の充実

- ・職場体験、高校説明会、職業講話・先輩に聞く会など自分づくりの活動の充実

(市一貫教育)

- 1 学年：職業講話
- 2 学年：職場体験（3 日間）
- 3 学年：キャリアフェスティバル
いといがわ
※ジオパーク学習

〇望ましい人間関係の形成

- ・小学校と連携した異年齢集団での活動の充実
- ・課題解決的な活動を取り入れ、互いの気持ちを伝え合い、協力し合うためのスキルの習得
- ・自他を大切にするよりよい仲間づくりへの支援

〇表現活動の充実

- ・学校内外の活動を活用した「活動成果発表の場・人間関係づくりの場」の設定
- ・全校体制による、自分づくりの支援（体育祭や音楽祭など）
- ・あいさつ運動等の充実

〇教育活動の地域への発信

- ・地域の担い手としての人材育成に寄与する活動の発信
(体育祭、音楽祭(6年生鑑賞)、地域貢献活動)

教育活動全般

〇自分の健康状態を見つめ、自己の健康課題を改善し、健康増進ができる生徒の育成

中学校区共通「健康生活アンケート」を実施し、日常の生活の仕方を振り返り、課題解決のための方策を考え、実践する機会とします。

〇保護者・地域と協力し、学校保健活動の活発化を図り、自他の心身を大切にできる生徒の育成

学校保健委員会の開催、保健だよりの発行など啓発活動を積極的に行い、健康・安全に関心をもち、主体的にヘルスプロモーションしていく基礎を培います。

健康

重点目標

安全で健康な生活を送る生徒の育成

教科・学習指導

進取

重点目標

自ら考え、判断し、実践する生徒の育成

今年重点取組事項

- ・安心して学べる環境づくりの推進
- ・地球を大切に、地域力を活用した社会性の育成
- ・教育職としてのプロ意識をもち、結果を出す職員集団づくり

〇分かる授業の実践

～生徒一人ひとりに
学びの達成感・成就感をもたせます～

- *明確なねらいと振り返りのある授業
- *主体的・対話的で深い学びの実現
(「知っている」から「できる」へ)
- *ICT機器の活用
- *全職員が一体となった、授業力向上

〇自主的な学びの支援と

個別支援の充実

～基礎学力の定着、
自ら学ぶ姿勢を育てます～

- *学びの連続を生み出す小中の連携強化
- *「家庭学習アイディアブック」を作成
- *主体的・計画的な学習習慣の育成
(市一貫教育)

- *自主学習ノートを活用し、家庭学習を支援
- *長期休業中の集中講座を開設し、個別の支援・指導を充実

**NRT偏差値全国平均以上
(市総合計画 令和7年度目標)**

〇開かれた学校の推進

- *学校運営協議会を軸に、教育活動と地域の活動を連携
- *生徒が地域に貢献できる資質の育成

◆生き方に関する指導の充実

- 〇豊かな心と主体的に生きる力を育てる教育
- 〇将来の生き方を考えさせる体験活動

生きる力の育成

－目指す生徒の姿－
ひとみを輝かせ、
たくましく実践を積み重ねる生徒

◆積極的な生徒理解・指導

＜自他を大切に作る仲間づくりに向けた取組＝居場所のある、安心できる環境づくりに取り組む＞

〇教育期を活用した支援・指導

- ・教育期ごとの目標を設定し学校諸活動に取り組むことで、メリハリのある学校生活となるよう支援します。

〇生徒会活動の充実（いじめのない学校づくり）

- ・行事の企画・運営に携わる生徒の活動を支援し、生徒の自主的・自律的活動を支援・指導します。
- ・学年・学級活動、委員会・部活動をさらに充実させ、よりよい学校生活と校風づくりに向け、支援・指導します。

●チーム教育の推進・組織的な対応【重点】

- ・学級担任・教科担任・部活動顧問などの関わる教職員で組織的に連携を図り、生徒を支援・指導します。

〇道徳教育の充実

- ・豊かな心の育成に向け、様々な体験活動と道徳教育を関連付けて、自他関係、集団生活の在り方について考えを深めることができるよう、支援・指導します。

◆学力を向上させる 授業改善の充実

- 〇自ら学ぶ意欲を育て、確かな学力を定着
- 〇家庭や地域との連携を密にし、地域に開かれた学校を実現

小学校との連携
家庭・地域との連携

糸魚川市子ども一貫教育～ひとみかがやく 日本一の子ども～

3つの柱：豊かな心、健やかな体、確かな学力

重要な教育活動：キャリア教育、ジオパーク学習、特別支援教育



糸魚川市立糸魚川中学校

所在地 糸魚川市上刈 4-1-1

校長 猪又 力

教頭 江川 義法

☎ 025(552)1267

Fax025(552)0360

Email itoigawa@itoigawa.ed.jp

2025 年度学級編制（特支人数は再掲）

学年	1 年	2 年	3 年	特支	合計
学級	4	4	5	6	19
男子	66	54	93	20	213
女子	62	72	73	12	207
合計	128	126	166	32	420

1 学校の概観

（１）学校の沿革

平成 10 年 西海・糸魚川・姫川 3 中学校が統合し、糸魚川中学校として開校

平成 11 年 グラウンド改修（ナイター設備完備）

平成 19 年 統合 10 周年記念事業

平成 22 年 新体育館完成

平成 29 年 統合 20 周年記念事業

令和 2 年 ヒスイ原石設置

令和 4 年 トイレ改修工事完了

令和 5 年 特別教室へのエアコン設置完了

（２）教育課題

□基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、学び続けていく生徒の育成

□自然を愛し、情操豊かな生徒の育成

□心身ともに健康で、最後まで頑張り抜く生徒の育成

□生徒相互、生徒と教師の心のふれあいの深化

□自尊感情を醸成し、前向きに考えて生活できる生徒の育成

2 本年度の教育課程

（１）教育目標

理想をもち、共に自己実現を目指す生徒

【目指す生徒】「先手あいさつ、時間を守る、規律（授業・生活）を身に付ける」

（２）重点目標

○公共心を磨き、自分を高める生徒

○日常（ふだん）を大切にした学校生活

（３）重点目標を達成するための方策

○生徒全員が安心して、喜んで通う学校にするため、人間関係や登下校など安全確保をはじめ、心身ともに安心・安全な環境を整える。

○学力向上対策を確実に実施し、学校体制での授業改善に取り組む。

○望ましい生活習慣を確立するために、緊密に家庭と連携する。

○小小・小中の連携を促進する。

○地域との連携を改善・充実し、地域のよりどころとなる、信頼される学校づくりを進める。

3 学習指導の大綱

（１）教科指導

○「基礎・基本の定着」、主体的、対話的で深い学びのある授業を計画、実践する。

○授業と家庭学習の望ましいサイクルを確立し、自ら学習に取り組む態度を育てる。

（２）「特別の教科 道徳」の時間

○様々な道徳的価値にふれ、自己の価値の自覚を深める。

○人間としての在り方や生き方を考え、より良く生きようとする意欲と態度を育てる。

（３）総合的な学習の時間

生涯の人生設計を考え、ふるさと糸魚川を愛し、豊かな人間関係を築く。

（４）特別活動

より良い学校生活を築くために、共に考え、意見を交わし、協力して取り組む態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

（１）指導の重点

○認め合い、協力し合い、高め合う自治集団づくりに努める生徒

○自らのあり方を知り、あるべき行動を進んで決定できる生徒

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 自治的な活動による集団的な高まりを通して、成就感や充実感がもてるように支援する。
- 全教職員が共通理解の上に立ち、一貫した指導体制で協力して指導にあたる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

学習規律を身に付け、主体的に学習に取り組む生徒の育成

(2) 研究の内容

- ①授業改善と家庭学習の充実の取組
- 学校経営基本方針を基に、全職員が授業で勝負する教師を目指す。
- 授業中の学習規律や、生徒一人ひとりの学びの事実の省察を中心とする協議を積み重ねる。
- 上越教育事務所要請訪問事業の活用による授業改善(英語)
- 終学活後の学習プランニングタイムの活用
- 家庭学習としての自主学習ノート、進学用教材の活用
- 授業の学びと家庭学習との好循環を生み出す指導の工夫
- NRT やにいがた学びチャレンジの効果的な活用
- ②認め合い高め合う学級集団の育成
- 諸活動を通して自己肯定感を高める取組
- 学級集団づくりの研修機会の有効活用

6 重要な教育活動

(1) キャリア教育

自分を見つめ、地域・社会・職業を考え、自己実現を目指す生徒

- 1年生…主体的に自己の進路について考える態度を育てる。(職業調べ)
- 2年生…職業に対する関心を高め、進路選択に必要な力を育てる。(職場体験)
- 3年生…進路実現のための自己開発に努める態度を育てる。(高校調べ)

(2) 特別支援教育

- 適切な指導及び必要な支援を全職員で行い、困難を主体的に改善・克服する態度の育成
- 自己実現に向けて、自らのありようを知り、自らの行動を決定しようとする態度の育成

7 部活動

(1) 設置している部活動

- 陸上競技部 ○軟式野球部 ○サッカー部

- 男女バスケットボール部 ○体操競技部
- 男女バレーボール部 ○男女卓球部
- 男女ソフトテニス部 ○剣道部
- 吹奏楽部 ○科学部 ○美術部 ○研磨部

(2) 活動時間

夏季 15:30～17:15 冬季 15:30～16:15

*毎週月、木、土または日は活動なし

*夏季休業日、冬季休業日は別に設定

8 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 36
- 講師 2 ○養護教諭 1 ○栄養教諭 1
- 事務主任 1 ○ALT 2 ○教育補助員 5
- 事務補助員 1 ○管理員 2
- スクールカウンセラー 1 ○心の相談員 2
- 図書館司書 1 ○地域学校協働活動推進員 2

9 学校運営協議会

【委員の構成】15名

○町内会長、主任児童委員、学識経験者、PTA

○学校応援隊他

【CSとしての課題】

○学校区全域の地域との連携

○真に地域に開かれた学校づくり

<校時表> ※4月、10月～1月は水曜6限

	月	火	水	木	金
8:10～8:20	職員朝会				
8:20～8:35	朝学活・学年朝会・生徒朝会				
8:45～9:35	1限				
9:45～10:35	2限				
10:45～11:35	3限				
11:45～12:35	4限				
12:40～13:10	給食(配膳含む)				
13:10～13:45	昼休み				
13:45～13:55	清掃		清掃		清掃
13:45～14:35		5限		5限	
14:05～14:55	5限		5限		5限
14:45～15:35		6限		6限	
15:05～15:55	6限				
授業終了10分後					
終学活・学習計画:15分間					
終学活終了 月(16:20)火・木(16:00)水・金(15:20)					
～17:15		放課後活動・部活動			

*生徒下校 17時35分(冬季:16時35分)

*通学方法 路線バス65名 徒歩・自転車355名

令和7年度



糸魚川中学校の教育

教育目標

理想をもち、ともに自己実現を目指す生徒

重点目標

- 目標をもち、ねばり強く学び続ける生徒【向上】
- 協力して諸活動に意欲的に取り組む生徒【感動・共生】
- 自他について深く考え、自分のよさや可能性を最大限発揮しようとする生徒【自己実現】

○糸魚川市こども一貫教育○学力向上いといがわプラン

育てる生徒の姿

<スローガン>

公共心を磨き、自分を高める ～日常を大切にした教育活動～



<日常における3つの目標>

先手あいさつ 時間を守る 規律（授業、生活）を身に付ける

豊かな心

1 具体的な取組

- 先手あいさつ（学校・家庭・地域）の啓発
- 人権意識を磨き続けるための教育の充実（人権教育、同和教育と道徳授業）
- 物を大切にする、ルールやマナーを守る（学級活動、生徒会活動をととして）

2 目指す成果

- 評価項目「学校生活の充実」、「あいさつ」、「思いやり」にかかわる肯定的評価が90%以上
- 「きまりを守る」「人の気持ちがわかる人間になりたい」と考えている生徒が95%以上

確かな学力

1 具体的な取組

<生徒>

- 授業規律の徹底（時間、姿勢、準備、提出物）
- 学習の仕方、「自学ノート」の定着

<教職員>

- 授業改善（板書の工夫、テンポ・メリハリ、明確なねらい等）

<学校、家庭>

- 家庭学習の習慣化（点検、宿題の提示等）

2 目指す成果

- N R T 全学年全国平均以上
- 「家庭学習の習慣化」の肯定的評価80%以上

健やかなからだ

1 具体的な取組

- 生活環境を自分で整える（清掃、給食）
- 自分の心と体を管理する（食事、睡眠、けがや病気の予防、メディア利用）
- 運動をする機会の増加と充実（自力での通学を推奨）

2 目指す成果

- 清掃、給食活動の肯定的評価が90%以上
- 「メディアコントロール」の肯定的評価が85%以上
- 「体の健康・安全」、「心の健康」、「体力向上」の肯定的評価が90%以上

地域と歩む

1 具体的な取組

- 交通ルール、マナーの遵守
- 地域ボランティア活動の推進
- 職場体験学習、交流活動の充実
- 将来の生き方を考えさせる指導の推進

2 目指す成果

- 「交通ルールやマナーを守って生活している」の生徒の肯定的評価が90%以上
- 「地域ボランティア活動」「職場体験」「自己有用感」に関する生徒の肯定的評価が85%以上

生徒

学校職員

保護者・地域

保護者の方針：「つながりを大切に」

- 子供達の明るく健やかな学校生活の後押しとなるPTA活動
 - これまでのPTA活動を振り返り、意義と価値観の共有をする
- ### 地域の方針：学校と一体となった地域づくり
- 地域と学校の関わりを再確認し、子供達の成長を後押しする

生徒会目標「明るく楽しい学校づくり」
生徒会スローガン「飛躍」

糸魚川の子どもは関係者全員の連携で育てる

- コミュニティ・スクール
- 校区小学校（西海、糸魚川東、糸魚川、大野、根知）
- ひすいの里総合学校
- 区長会
- 関係幼稚園・保育園
- 市内高校（糸魚川、糸魚川白嶺、海洋）
- 地区公民館
- 支館長会
- 学校支援地域本部事業
- いじめ対策委員会
- 学校・警察連絡協議会
- 地区青少協
- 市防犯組合連合会
- スポーツ協会
- 商工会議所
- 青年会議所
- 市内企業
- 福祉関係機関
- 上越教育大学
- 市教育委員会
- 上越教育事務所等行政機関





糸魚川市立青海中学校

所在地 糸魚川市大字寺地1160

校長名 平野 克之

教頭名 曾根原 至

TEL 025-562-2079

FAX 025-562-5447

E-mail omi-jhs@itoigawa.ed.jp

R7年度学級編制

学年	1年	2年	3年	特支	合計
学級	2	2	2	3	9
男子	21	33	18	4	72
女子	24	28	18	6	70
合計	45	61	36	10	142

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

本校創立(S22・4・30) 開校式(S22・5・15)

新校舎落成(S23・4・17)

創立10周年記念、式典(S32・11・8)

寄宿舎落成(S37・12・15)

上路中学校と統合(S41・4・1)

創立20周年記念、式典(S42・11・1)

市振中学校と統合(S43・4・1)

歌外波中学校と統合(S46・4・1)

創立40周年記念、式典(S63・4・30)

新校舎竣工式(S63・10・1)

創立50周年記念、式典(H9・2・27)

創立60周年記念、式典(H19・10・27)

創立70周年記念、式典(H29・10・28)

(2) 教育課題

- 基礎・基本となる学力の確実な定着と自ら学ぶ態度の育成
- お互いにかかわり合う力と思いやりの心の育成
- 規範意識を醸成し、自ら考え主体的に行動する態度の育成
- 地域の教育力を生かし、積極的に地域に貢献する生徒の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「自ら学ぶ、心豊かな、たくましい生徒」

(2) 重点目標

- 主体的に学習に取り組む生徒（自ら学ぶ生徒）
- 認め合い高め合う生徒（心豊かな生徒）
- 力強く最後までやり遂げる生徒（たくましい生徒）

(3) 重点目標達成のための方策

- 主体的に学習に取り組む生徒の育成
 - ①主体的な学びを実現するため個別最適な学びとなるよう自己調整する力の育成
 - 1) 基礎学力の定着（授業の環境作り、板書の共通化、基礎学力テスト、ICTの活用）
 - 2) 生徒が学習状況を把握し、何を学ぶか自身に適な課題や方法を選択させる工夫
 - ②「見通し」と「振り返り」に基づく学習習慣の定着
 - 1) 学習者が何をどのように学ぶかの「見通し」を立てる

2) 協同的な学びを整理するための「振り返り」

○互いに認め合い高め合う生徒の育成

①互いに認め合い高め合う集団づくり

- 1) 誰とでも進んであいさつできる生徒の育成
- 2) 自己決定力・自己存在感・共感的人間関係の育成

②いじめを見逃さない、許さない意識の醸成

- 1) いじめの法的な理解、いじめ通報は人権侵害の防止行動であると理解
- 2) 学年・学級における自治的活動の促進

○力強く最後までやり遂げる生徒の育成

①キャリア教育の視点を意識し、夢をもって粘り強く挑戦する生徒の育成

- 1) 今の学びを社会や将来との関連性で捉える

②目標達成に向けて努力する態度の育成

- 1) 学校行事等の特別活動で適切に目標を設定し、規律ある中で粘り強くやり抜く力の育成
- 2) 体力テストに基づく体力づくり

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

- 基礎学力の確かな定着を図り、主体的に学ぶ生徒の育成
 - ・授業の心得の実施（中学校区共通取組事項）
 - ・基礎学力の定着（朝学習や基礎学力テスト）
 - ・学習環境づくり（学びの心得）

(2) 道徳の時間

道徳的価値に対する自分の考えを深めることができるよう、生徒の体験を生かした指導過程を工夫することにより道徳的实践力を育成する。

(3) 総合的な学習の時間

青海や糸魚川ジオパークを中心にした体験学習や現地学習などを通して、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えるための資質・能力を育成する。

(4) 特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

- 全教職員が指導方針、指導内容について共通理解の下に、一貫した指導・支援に当たる。

- 生徒の実態をよく見取り、共感的な人間関係の下で、指導・支援に当たる。
- 職員間の報告・連絡・相談を密にして、組織的に指導・支援に当たる。
- 個々の生徒が自己理解を深め、目標をもって生活できるよう指導・支援する。
- 生徒の自主的活動を促進し、健全で楽しい学校生活が主体的に営まれるように指導・支援する。

(2) 具体的な実践の方策

- 生徒個々の理解を深めるとともに、教職員自身の姿勢を正し、生徒との信頼関係の確立に努める。
- 生徒指導情報交換会をもち、生徒の特性や対応の仕方について全教職員で共通理解を図る。
- 問題をかかえる生徒については、学年部を中心とした複数の教職員で組織的に指導・支援に当たる。
- 学級活動や生徒会活動の企画・運営に当たっては、生徒の自主性を尊重するとともに、常に教師が見守り、指導・支援に当たる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題研究テーマ

主体的に学習に取り組む態度の育成
～生徒がわくわく、どきどきする授業づくり～

(2) 研究内容

- ・各教科・領域において、生徒が「わくわく、どきどき」する具体的な姿を考察する。(定義づけ)
- ・具体的な姿と「主体的に学習に取り組む態度」とのつながりを見出す。(自己調整との関連性)

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

糸魚川ジオパークから、課題を見つけ、持続可能な発展の視点などの見方、考え方ができる生徒を育成する。

- ① 1年…ふるさと学習、ジオパーク検定に挑戦、ジオサイト探検、ジオパーク交流会参加
- ② 2年…ふるさと学習、職場体験学習、修学旅行、ジオパーク検定に挑戦
- ③ 3年…ふるさと学習、地域貢献活動、地域活性化計画提案、ジオパーク交流会参加

(2) キャリア教育

- 自己の特性を正しく理解し、夢や希望を実現するために、自ら意志と責任で自分の進路を選択・決定する力を培う。
- 生徒のキャリアを形成するための必要な意欲・態度や能力を育てる。
- ① 1年…進路計画、自己理解、職種の概観
- ② 2年…労働の目的と意識、学業と職業、進路計画の吟味
- ③ 3年…進路計画の最終検討と進路決定、将来の生活への心構え

(3) 特別支援教育

- ① サポートが必要な生徒に対し、教育が充実するよう全職員の共通理解と協力をもとに、校内体制を整える。
- ② 特別支援学級の生徒においては、個々の特徴や能力に応じた学習を進め、基本的な知識や技能を身に付け、適切な進路選択ができるように支援する

- ③ 交流学級でのふれあいや諸活動を通して、集団生活への適応を図る。

7 部活動

(1) 設置している部活動

- 陸上競技 ○軟式野球 ○卓球
- バレーボール(女子) ○剣道
- バスケットボール(男子)
- 吹奏楽

(2) 活動時間

夏季 終学活後～17:55

冬季 終学活後～16:55

*毎週月・木曜日、土曜日から日曜日は活動なし

*定期テスト前5日前より活動なし

8 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○事務長 1
- 教諭 11 ○養護教諭 1 ○講師 1
- ALT 1 ○管理員 3 ○教育補助員 2
- 非常勤講師 2

9 学校運営協議会

(1) 構成 15名

- 同窓会副会長、公民館長、青海事務所長、小学校長、子育て支援員、PTA会長 他

(2) 課題

- ふるさと青海に誇りと愛着をもち、将来にわたってふるさとと関わりをもつ子どもの育成

□□ 日課表 □□

月		火		水		木		金		3～6期始業・清掃なし		短期・清掃あり	
8:10				登校						登校			登校
8:15	15 朝読書	8:15 学年朝会	8:15 全校朝会	8:15 朝読書	8:15 朝読書	8:15 朝読書	8:25 朝学活	8:25 朝学活	8:25 朝学活	8:15 朝活動	8:15 朝活動	8:25 朝学活	8:15 朝活動
8:25	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活	朝学活
8:40	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
9:30	11	21	31	41	51					1			1
9:40	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
10:30	12	22	32	42	52					2			2
10:40	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
11:30	13	23	33	43	53					3			3
11:40	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動	準備・移動
12:30	14	24	34	44	54					4			4
13:05	昼 食 (休憩・準備(3.5分間))									昼 食 (休憩・準備)		昼 食 (休憩・準備)	
13:45	終学活(3.5分間)												
13:45	15	25	35	45	55					5			5
14:35	14:40 14:50 14:55 15:00 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	14:35 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30 15:35 15:40 15:45 15:50 15:55 16:00 16:05 16:10 16:15 16:20 16:25 16:30	
15:35	放課後活動なし												
15:45	完全下校 15:20												
15:55	8時15:25												
16:05	学年・学級活動 後見員 後見日												
16:15	生徒会活動 後見日												
16:25	放課後活動なし 完全下校15:20 8時15:45												
※放課後の部活動(委員会・学級活動などの開始時間は最大16:30まで) <部活動時間> ※放課後活動がないときの完全下校の基本は、終学活終了10分後													
終学時間 (最終下校時刻)		完全下校		スモール/バス時刻		電車時刻		青森通/磯崎/八戸 (青森通/八戸)		青森通/磯崎/八戸 (青森通/八戸)		青森通/磯崎/八戸 (青森通/八戸)	
4月～10月まで		17:55		18:05		18:05		18:27		15:23		17:51	
11月～3月まで		16:55		17:05		16:45		17:02		16:22			

令和7年度 グランドデザイン

糸魚川市子ども教育の目標
郷土愛にあふれ、夢をかなえるひとづくり

青海中教育目標 **自ら学ぶ、心豊かな、たくましい生徒**

青海中 目指す生徒像
自信と信頼関係を基盤に、積極的に目標に挑戦する生徒

糸魚川市立 青海中学校

重点目標1 「自ら学ぶ生徒」

主体的に学習に取り組む生徒

- 主体的な学びを実現するため個別最適な学びとなるよう自己調整する力の育成
- ①基礎学力の定着（授業の環境作り、板書の共通化、基礎学力テスト、ICTの活用）
- ②生徒が学習状況を把握し、何を学ぶか自身に最適な課題や方法を選択させる工夫
- 「見通し」と「振り返り」に基づく学習習慣の定着
- ①学習者が何をどのように学ぶかの「見通し」を立てる
- ②協同的な学びを整理するための「振り返り」

重点目標2 「心豊かな生徒」

互いに認め合い高め合う生徒

- 互いに認め合い高め合う集団づくり
- ①誰とでも進んであいさつできる生徒の育成
- ②自己決定力・自己存在感・共感的人間関係の育成
- いじめを見逃さない、許さない意識の醸成
- ①いじめの法的な理解、いじめ通報は人権侵害の防止行動であると理解
- ②学年・学級における自治的活動の促進

重点目標3 「たくましい生徒」

力強く最後までやり遂げる生徒

- キャリア教育の視点を意識し、夢をもって粘り強く挑戦する生徒の育成
- ①今の学びを社会や将来との関連性で捉える
- 目標達成に向けて努力する態度の育成
- ①学校行事等の特別活動で適切に目標を設定し、規律ある中で粘り強くやり抜く力の育成
- ②体力テストに基づく体力づくり

人権教育、同和教育・キャリア教育・

特別支援教育の視点に立った教育活動

小学校・幼稚園・保育園との連携

- 「青海地域連携を進める会」の取組の推進
- ・授業研究 ・協議 ・交流活動
 - ・あいさつ運動 ・情報交換 等

保護者・CS との協働

- ・体育祭、音楽祭等への参画
- ・PTA各委員会の取組
- ・保護者懇談会、各種たよりの発行
- ・きめ細かな情報交換 等

地域との連携

- ・キャリア教育における協働
- ・授業、部活動、各種行事等での地域からの支援
- ・地域と連携した防災教育の推進 ・地域ボランティア活動
- ・学校だより HPの有効活用 ・部活動地域展開の推進
- ・地域行事への参加

ジオパーク学習の推進

- ・糸魚川ジオパークの積極的な活用
- ・青海中ジオトープの有効活用
- ・ジオパーク検定、海外派遣への参加

糸魚川子ども一貫教育方針

地域とともに歩む学校づくり